



平成 20 年 5 月 2 日（金曜日）発表

平成 20 年 5 月 2 日（金）

愛知県産業技術研究所 尾張繊維技術センター

担当 板津、山本、大野、安田

電話 0586-45-7871

愛知県産業労働部地域産業課

担当 技術振興・調整グループ 加藤、木津

内線 3360、3362

（ダイヤルイン）052-954-6340

「人と環境にやさしい素材」に尾州の匠の技術を融合

— 地元企業、県産業技術研究所、FDC が最新の衣料製品を共同開発 —

愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センターは、「人と環境にやさしい素材」に関する技術をもとに、財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（以下、FDC）と地元企業と最新の衣料製品を共同開発しました。

「環境素材に尾州の匠の技術を融合」をテーマとして、メンズ向けには、竹繊維を用いた上質感のある光沢織物など、16 点を試作しました。レディース向けには、和紙を原料とした糸を使用した和風で清涼感溢れる軽量織物など、13 点を試作しました。

この開発品は、平成 20 年 5 月 14 日（水）から 16 日（金）まで、FDC で開催される「尾州テキスタイル・エキシビション」において展示します。

1. 背景

消費者の安心・安全への意識の高まりから、「人と環境にやさしい素材」が大きく注目を集めてきています。しかしながら、新しい環境素材は、従来の素材と比較して、目標の色や風合いを出すのが難しく、機能性、デザイン等を加味した魅力的な商品に至るまでには、多くの課題があります。

これらの課題を克服し新たな需要を喚起するため、高品質なウール素材、竹繊維、和紙糸などの環境素材に焦点をあて、紡績・織り・染色・整理加工¹⁾などの尾州の高度な匠の技術を融合し、「着心地」「使い心地」の機能性に加え、精神的な豊かさや満足感を創出できる、尾州独自の衣料製品の開発に取り組みました。

2. 開発の経緯

地元繊維業界の企画者や技術者、縫製関係者が集まって新製品の開発に取り組む FDC テキスタイルプランナー協議会²⁾は、愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センターが参画しており、今回の試作に当たっては、研究所が保有する環境素材に関する技術の提供だけでなく、撚糸加工や製織、染色・整理加工などの生産現場での技術的問題の解決、さらには最近のトレンド情報の提供など、新製品の企画から製造・商品化まで、幅広い支援を行い、尾州オリジナル商品を開発しました。

3. 開発品の内容

(1) メンズ向けテキスタイル開発グループ

「着心地」「使い心地」の良い高品質なウール素材の織物や、竹繊維を組み合わせた上質感のある光沢織物など、スーツ、ジャケット用から、肌触りがよくチクチクしないウールのアンダーウェアまで、幅広いバリエーションで16点を開発しました。

この開発には以下の「尾州の匠の技術」が活用されています。

- ・ 竹繊維とウール等、異素材を組み合わせることにより、上質感のある光沢や清涼感を持たせる技術
- ・ ウールに新しい加工を施すことで、トラベルスーツとしての機能性（ストレッチ性、防しわ性等）を付与する技術
- ・ 和紙やオーガニックコットン³⁾の清涼感を最大限に活かすための織り技術
- ・ ウールに肌着として使えるやわらかさを確保し、薬剤ではなく自然にやさしい酵素処理⁴⁾を行うことで、水洗を可能とする技術など

(2) レディース向けテキスタイル開発グループ

とうもろこし繊維⁵⁾とウールを複合化した糸に加え、ヒノキ成分⁶⁾を練り込んだ糸や和紙を原料とした糸を用い、ワンピースやブラウスなどの用途に利用できるソフトで、質感の高い織物13点を開発しました。

この開発に使われた「尾州の匠の技術」は次のとおりです。

- ・ 和紙を短冊状にスリットした糸に撚りかけることにより、適度なハリやコシと柔軟性を付与する技術
- ・ 糸を作る段階でウール繊維ととうもろこし繊維を複合することにより、低温でアイロンがけが可能で、ウール単独より強さのある糸を作る技術など

4. 展示会の詳細

(1) 名称 「尾州テキスタイル・エキシビション（愛称・尾州TEX(テックス))」

FDC テキスタイルプランナー協議会展示コーナー

(2) 日時 平成20年5月14日(水)、15日(木)、16日(金) 午前10時~午後5時

(3) 場所 財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター

5. 問い合わせ先

愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター開発技術室

一宮市大和町馬引字宮浦35 電話 0586-45-7871

担当：大野（メンズ向けテキスタイル開発グループ）

担当：安田（レディース向けテキスタイル開発グループ）

<用語解説>

1) 整理加工

ウールの布地は、様々な風合を作り出すため、洗ったり、揉んだり、蒸気で蒸したり、起毛したりと複雑な加工を行う。こうした加工を総称し、整理加工という。

2) FDC テキスタイルプランナー協議会

平成 12 年度から FDC が主催し、愛知県産業技術研究所が技術指導する研究会。会員は地元繊維業界の企画者や技術者、さらには川下業者の縫製関係者で、社会的な関心ごとの中からテーマを選定し、共同で研究開発を行っている。

3) オーガニックコットン

農薬や化学肥料を使わない有機農法による綿花から製造された綿糸。

4) 酵素処理

微生物などの生体内からつくられる酵素を触媒として加工を行う処理方法のこと。

5) とうもろこし繊維

とうもろこしから採取したでんぷんをもとに乳酸をつくり、特殊な触媒によりポリ乳酸樹脂をつくる。このポリ乳酸樹脂を加熱しノズルから細く引き出すと繊維になる。さつまいもなどを原料としたものもある。他の石油系の繊維と比べて熱に弱い。

6) ヒノキ成分

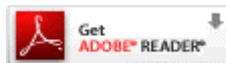
ヒノキから抽出され、抗菌・消臭効果等の効果がある。

メンズ向けテキスタイル開発グループ



[\(ファイル名:mens.pdf サイズ:61.17 KB\)](#)

スーチングタイプ 3 点ほか



PDF ファイルの閲覧には Adobe Reader が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、[Adobe 社のサイトから Adobe Reader をダウンロード \(無償\) してください。](#)

レディース向けテキスタイル開発グループ



[\(ファイル名:lady.pdf サイズ:33.67 KB\)](#)

ヒノキ和紙など

メンズ向けテキスタイル開発グループ

スーティングタイプ (3点)

「 High power Natural Stretch 」

新しい加工法により、20%以上のストレッチ性と90%以上の高い回復性に加え、優れた防シワ性のあるトラベルスーツ用のウール100%毛織物です。



「 クールタッチ 」

和紙と綿とモヘアによる春夏向け清涼素材です。素材そのものの持つ清涼感を最大限に活かすため、平織ベースの基布に別組織を加え、組織の凹凸によりドライタッチが感じられる織物に仕上げました。



「 シャイニーバンブール 」

ウール、竹から紡糸してできたバンブーレーヨン、モヘア、シルクの4者混素材です。異素材の配列により陰影ある柄を表現し、素材の持つ光沢感に加え、仕上げ加工でも光沢を付与し上質感ある織物に仕上げました。



カジュアルタイプ (4点)

「 オーガニックジャケット 」

農薬を用いず人と環境にやさしいオーガニックコットンを使い、染色せずに自然の色を生かしたロハス指向のジャケット地です。



「 エコバンブーウール 」

竹から紡糸してできたバンブーレーヨンとウールとを組み合わせ用い、楊柳組織でナチュラルな表現をした織物です。



「 Tomorrow 尾州 」

尾州産地と言えばウールですね。産地の今後を展望し、地球の温暖化対策(エコロジー)等を考慮して試作しました。チリメン加工し、通気性も高く、清涼感も付与した春夏用シャツ、ブラウス地です。



テーラードタイプ (3点)

「 エコサテン 」

極細の綿糸と竹から紡糸してできたバンブーレーヨンのフィラメント糸を使い、光沢感を出したカジュアル素材です。用途展開を図るため、キルティング加工し、軽くてお洒落なジャケットにしました。



「 エココーデュロイ 」

竹から紡糸してできたバンブーレーヨン糸と綿糸とを組み合わせ用い、ヨコ方向にストレッチ性があるカジュアルなコーデロイです。秋冬用ジャケットまたはコート向けの織物です。



「 エアリーダブル 」

ウールをエア交絡した糸によるソフト感とふくらみに加え、裏起毛による仕上げと二重組織でバルキー感を持たせました。風合いやエコを意識し未炭化紡毛を使用した秋冬素材です。



「ウール de デニム」タイプ (3点)

「ウール de 寝装品」タイプ (3点)

「 “ウールの恵のチカラ” 」

難燃・防災機能を備えたスーパーウォッシュャブルなデニムジャケット、チノパン、セーター
抗菌・防臭・機能を備えたチクチクしないウール・アンダーウェア & 優れた吸・放湿性能を備えた3シーズンバイブル

ニュージーランド羊毛100%織物の原糸を用い酵素を応用したバイオ加工でウールを改質して、スーパーウォッシュャブル(耐洗濯)を可能にし、ウール本来の機能を損なわず、さらに新しい特性を生み出した素材製品です。



	<p>「ヒノキボイル」 (使用素材) ヒノキレーヨン 15%、綿 85% (織物の特徴) ヒノキ成分による抗菌・消臭効果のある軽量素材(織物)</p>
	<p>「ヒノキ和紙」 (使用素材) ヒノキレーヨン 7%、綿 38%、和紙 55% (織物の特徴) ヒノキ成分による抗菌・消臭効果に、極細の和紙のスリット系に強撚を掛けることによる、適度なハリコシの中に柔らかさ・保湿性・通気性を兼ね備えた、清涼感溢れる日本独自の軽量エコロジー素材(織物)</p>
	<p>「シャドーストライプ」 (使用素材) ポリ乳酸繊維 40%、ウール 60% (織物の特徴) ポリ乳酸繊維/毛の精紡交撚糸を使用した、ラフ感のある軽い素材(織物)</p>
	<p>「シャドーチェック」 (使用素材) ポリ乳酸繊維 34.5%、ウール 65.5% (織物の特徴) ポリ乳酸繊維/毛の精紡交撚糸を使用した、わずかな凹凸と、ラフ感のある軽い素材(織物)</p>
	<p>「ガーゼクロス」 (使用素材) ポリ乳酸繊維 23%、ウール 77% (織物の特徴) 単糸使いによるシャリ感を持つガーゼのような軽量素材(織物)</p>
	<p>「ダブルクロス」 (使用素材) ポリ乳酸繊維 24%、ウール 76% (織物の特徴) 二重織を剥がして一枚仕立てにしたことによるふくらみと柔らかさを持った素材(織物)</p>
	<p>「とうもろこしボイル」 (使用素材) ポリ乳酸繊維 50%、ウール 50% (織物の特徴) 単糸使いによるシャリ感を持った軽量素材(織物)</p>
	<p>「とうもろこしスーツ」 (使用素材) ポリ乳酸繊維 50%、ウール 50% (織物の特徴) メランジ感があり、双糸使いによるしなやかさとふくらみを持った素材(織物)</p>